

令和3年3月23日

鴨川市立国保病院
病院長 林 宗寛

鴨川市立国保病院における新型コロナウイルス感染者の発生状況について

令和3年3月21日（日）に、当院にて新型コロナウイルス感染者（職員3名と入院患者1名）が判明しましたが、さらに入院患者2名の感染が確認されましたので、経過及び対応等について、お知らせいたします。

【経過】

3月21日（日） 入院病棟で勤務する職員3名と入院患者1名の計4名が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明。

3月22日（月） 3月21日（日）に感染が確認された4名の濃厚接触者6名と同病棟の入院患者15名の計21名について、安房保健所によるPCR検査を実施した。

その結果、新たに入院患者2名の感染が確認された。

これにより当院における感染者は、計6名となりクラスター（集団感染）の発生が確認された。

【対応】

安房保健所、当院感染対策委員会の指示のもと、引き続き濃厚接触者の評価を行ってまいります。

また、当院で勤務する全ての職員及び入院患者に対し、新型コロナウイルスの検査を実施しています。

院内では、感染対策方針に則り、病棟内の消毒を行うとともに、勤務する職員は、マスク、フェイスシールドを着用し、アルコール手指消毒などの感染防止対策を徹底しております。

なお、本日以降の外来診療については、引き続き安全性が確保されるまでの間、休診いたします。

市民の皆様には、今後も新しい情報がまとまりましたら、お知らせいたします。